



学校運営協議会たより

学校運営協議会「コミュニティ・スクール」とは

大郷小学校では、令和3年1月20日に学校運営協議会が発足し、4年目を迎えます。市内の小中学校でも令和4年度中に全校に設置されました。学校運営協議会が設置された学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。

コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みができた学校です。「コミ・スク」では、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

今年度、のPTA会長佐藤陽介さんが、PTAスローガンを「コ（子供のために）ミ（みんなでチャレンジ）スク（すくすく育て 大郷っ子）」とし、「地域みんなで、どのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有し、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育ていきましょう」とPTA総会で提案され、決定しています。

また、学校運営協議会には3つの役割があります。①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する ②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる ③教職員の任用に関して教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができます。今年度第1回の開催では、主に①と②について協議していただき、ご意見を頂戴しました。

今年度の学校運営協議会委員の皆様

No.	役 職	氏 名	地区・学校での役職等
1	会 長	近藤 健一 様	大郷コミュニティセンター所長
2	副会長	中村 明千 様	教育後援会会長
3	委 員	木村 学 様	町内会連合会会長・見守り隊会長
4	委 員	丹野 壽美 様	民生児童委員副会長
5	委 員	佐藤 陽介 様	大郷小PTA会長
6	委 員	安達 裕子 様	山形市立いずみ保育園園長
7	委 員	三部 敏子 様	主任児童委員・ほっとるうむ共同代表
8	委 員	松井 愛 様	子育てサポート委員長・ほっとるうむ共同代表
9	委 員	相田 真弓 様	大郷こどもクラブ支援員代表
10	委 員	秋鍬 直人 様	絆の会代表

今年度第1回学校運営協議会の内容について

今年度、第1回の開催では、全学級の授業参観の後、校長室を会場にして「学校経営の方針」「今年度の取り組み」などについての話し合いをしていただき、多くのご意見を頂戴しました。

1 「学校教育目標」と「めざす子どもの姿」の取り組みと具体的な姿について

(1) 学校教育目標『自立と共生 誇りと信頼』

《自立》自立した学習者」として学び続け、持続可能な社会の担い手を育成する

《共生》「共生社会」実現の一員としての学びや心の成長を支える

《誇り》地域で学びを通して、大郷の良さを理解し、大郷を愛する心を育てる

《信頼》誰一人取り残されず、個々の個性を尊重する学びの実現が生み出す頑強な絆づくり

(2) めざす子供の姿『こころゆたかに かしくく たくましく』

《こころゆたかに》正義が通る集団をつくり、相手を思いやり、自他を大切にする姿

《かしくく》学ぶことの意義や楽しさを知り、自ら進んで学ぼうとする姿

《たくましく》仲間と共に高め合い、学び合う活動の喜びを知り、次の学びへと前進する姿

2 学校の課題と取り組み方針

(1) 「学力向上」に向けての対策

①一人一人への対応

- ・休み時間、放課後に時間をつくり、わかるまで、できるまで個別指導を丁寧に行う
- ・学習の遅れが顕著な場合は、担任外の教員が授業に加わってサポートする
- ・連絡を細かく取り、現状や課題を保護者と共有し、学校と家庭が協力して取り組む

②学校全体での対応

- ・NRT 学力テストや全国学力・学習状況調査等の結果を受けて、現状把握のための職員会議での検討や、アクションプランを作成しての指導の徹底を図る
- ・校内研究に「自ら」「すすんで」学習に取り組むことをテーマとして全員で取り組む

③七中学区の対応

- ・「セブン・プライド」をもとに、地域全体で取り組みを開始する

(2) 「老朽化の進む施設・設備」の維持管理について

○今年度の修理・改修計画

- ・体育館の全面改修工事 7月～1月（天井吹付材・LED照明・壁面修理）
- ・2Fと3F廊下床タイル張替え（PTAからの寄贈）
- ・中庭整備工事（5月で完了）

今年度の学校経営の方針と、今年度重点的に取り組む（1）（2）について説明させていただき、委員の皆様からご意見をいただきました。

「学校が本気で学力向上に取り組んでいる」「七中学区全体での大きな課題である」ことを、地域の皆様、保護者の皆様、地域の全児童・生徒の全員に理解していただき、堅いスクラムを組んでチームとして取り組み、「一人一人ができることから始める」「家庭学習を確実に丁寧に行う」「子供の学習を学校だけでなく家庭でも支える」ことから始めましょう。そして、大郷小だけでなく、七中学区のどの学校でも、学習用具がそろった状態で「良い授業」が行われ、「自ら」「すすんで」の姿で集中して授業に臨む。小学生は保護者が寄り添って家庭学習に取り組み、上学年や中学生は自分のペースでの家庭学習が確立する。全員が宿題を提出し、自主学習も行うことができるようになれば、間違いなく学力は向上します。ぜひ皆様のお力添えをお願いします。